



2017年3月期 第2四半期決算説明会

2016年11月17日

代表取締役社長

實吉 政知

	ページ
2017年3月期第2四半期決算	…… 2-16
当社の経営戦略	……17-22



2017年3月期決算 第2四半期決算

● 経営環境(中期的なトレンド)

- 医療費抑制策は継続、予防医療・医療過誤抑制及び業務効率化への動き拡大

⇒ RFIDの利用による検体情報の統括管理ニーズの喚起
(外来/病棟の採血～検体検査、採尿の検体検査など)

オンリーワン製品の投入で医療現場における活用領域拡大を目指す
[BC・ROBO-8000RFID、UA・ROBO-2000RFID、u-TRIPS、TRIPS-Bt]

- 健診施設・クリニック等向け製品 <BC・ROBO6> の展開

● 上期の経営環境

- 主力製品(ROBO-8000RFID)で更新需要捕捉…大病院で慎重
- 海外…売上げはほぼ横ばい

● 主な取組み

➤ 採血管準備装置

大病院 ⇒ 更新需要の捕捉
中病院 ⇒ 新規開拓の加速
健診センター ⇒ 販路拡大

⇒ { 粗利率を維持しつつ
新たな市場を開拓

➤ 検体検査装置

検査室、緊急検査、手術室、産科及び動物病院、小病院
へも販路拡大

➤ 輸出

各国の経済情勢不安定継続。引き続きキメ細かく案件捕捉

➤ オンリーワン製品

- ・検体情報統括管理システムを搭載したBC・ROBO-8000RFID
- ・RFID尿検体管理システム(u-TRIPS)の拡販
- ・RFID輸血患者情報管理・照合システム(TRIPS-Bt)の拡販
- ・静脈可視化装置の利用拡大(麻酔科・小児科、救急救命、インプラント等)
- ・生活習慣病の予防ニーズを捉えたヘルスケア関連製品提案

● 決算サマリー

(単位:百万円)

	2015年 4-9月期		2016年 4-9月期		
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	前年同期比 (%)
売上高	3,948	100.0	3,765	100.0	△ 4.6
営業利益	794	20.1	335	8.9	△ 57.8
経常利益	795	20.1	335	8.9	△ 57.9
四半期利益	506	12.8	△ 233	△ 6.2	-----
1株当り純利益(円)	57.9	-----	△ 27.1	-----	-----
1株当り純資産(円)	1,336.6	-----	1,333.1	-----	△ 0.3

採血管準備装置の更新に対する慎重姿勢が継続 ⇒ 納入施設数は前年同期比で減少

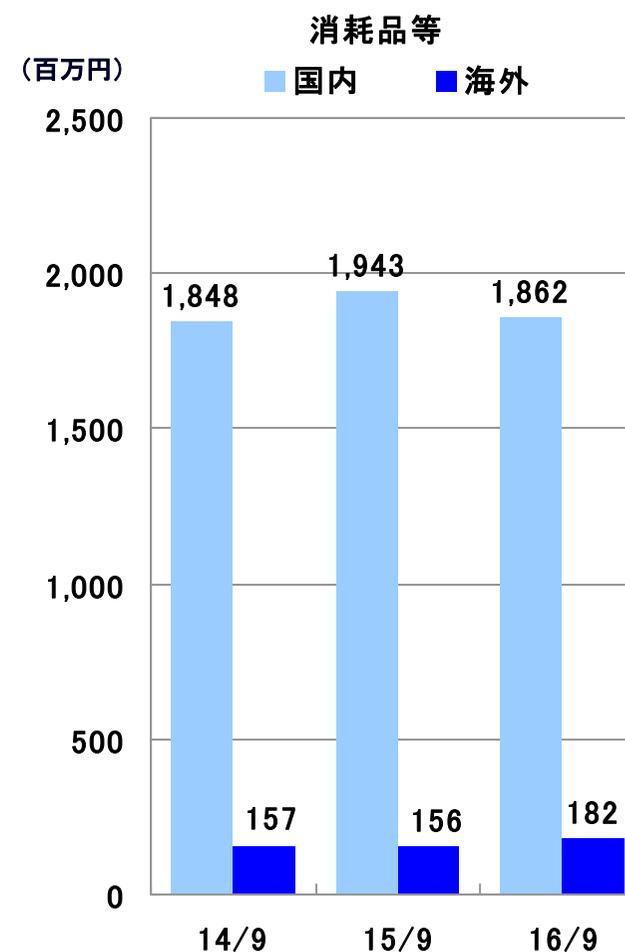
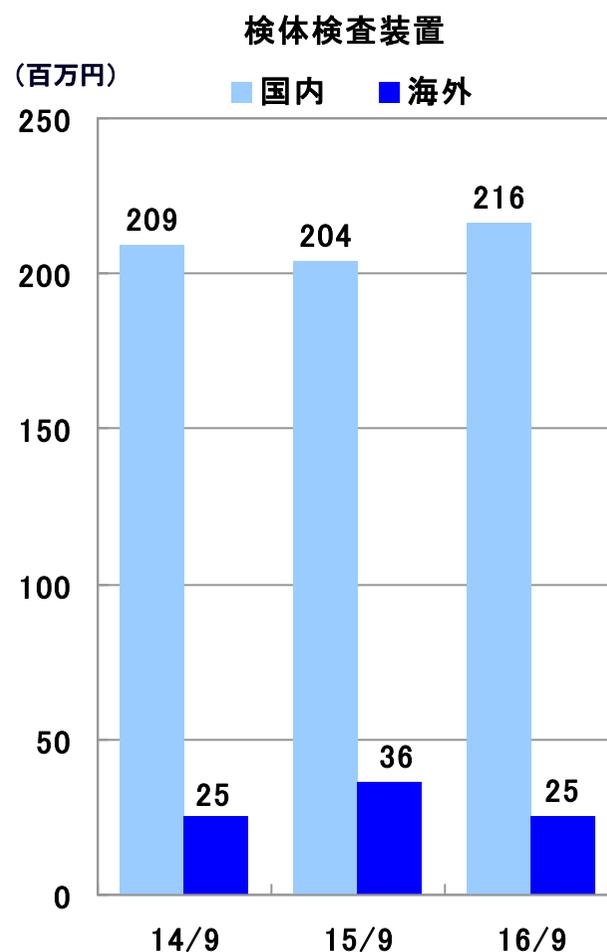
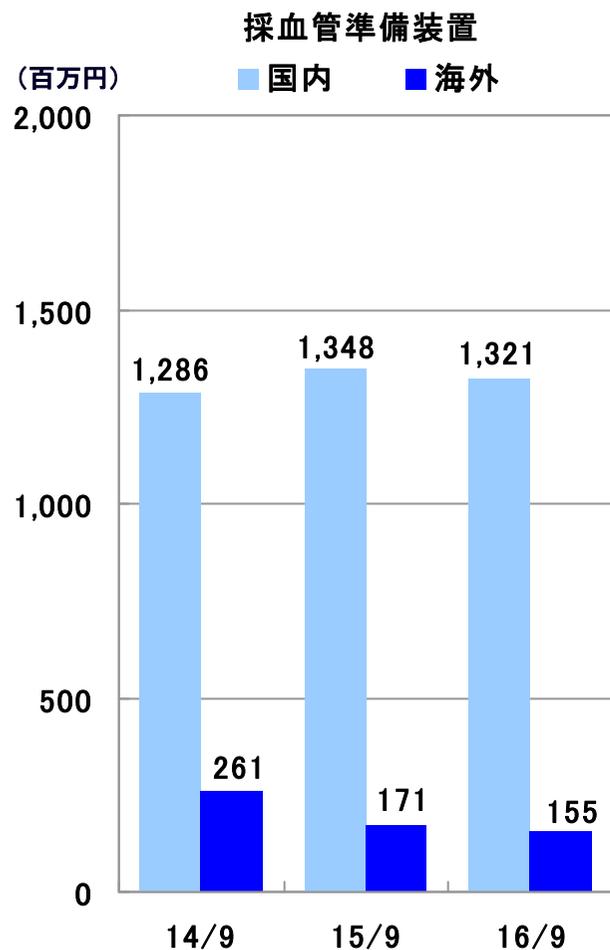
● 品目別売上高

(単位:百万円)

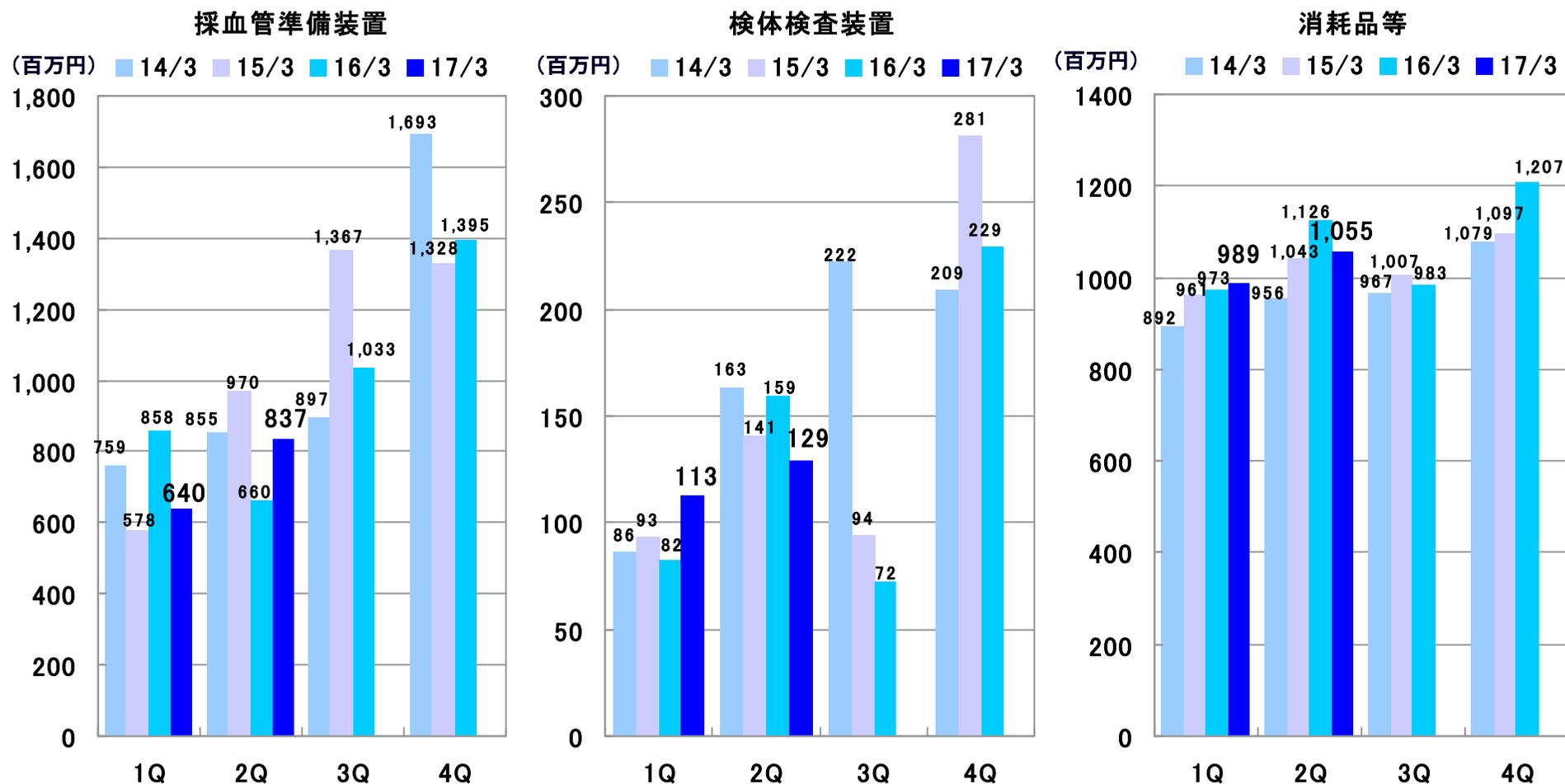
	2014年	2015年	2016年	2015年	2016年	
	3月期	3月期	3月期	4-9月期	4-9月期	前年同期比(%)
採血管準備装置	4,205	4,243	3,948	1,519	1,477	△ 2.8
構成比(%)	47.1	46.4	43.7	38.5	39.2	-----
検体検査装置	681	610	544	241	242	+ 0.6
構成比(%)	7.6	6.7	6.0	6.1	6.4	-----
消耗品等	3,895	4,110	4,290	2,100	2,044	△ 2.6
構成比(%)	43.6	45.0	47.5	53.2	54.3	-----
その他	150	179	249	86	0	△ 100.0
構成比(%)	1.7	2.0	2.8	2.2	0.0	-----
合計	8,933	9,145	9,032	3,948	3,765	△ 4.6

採血管準備装置、消耗品等が横ばい

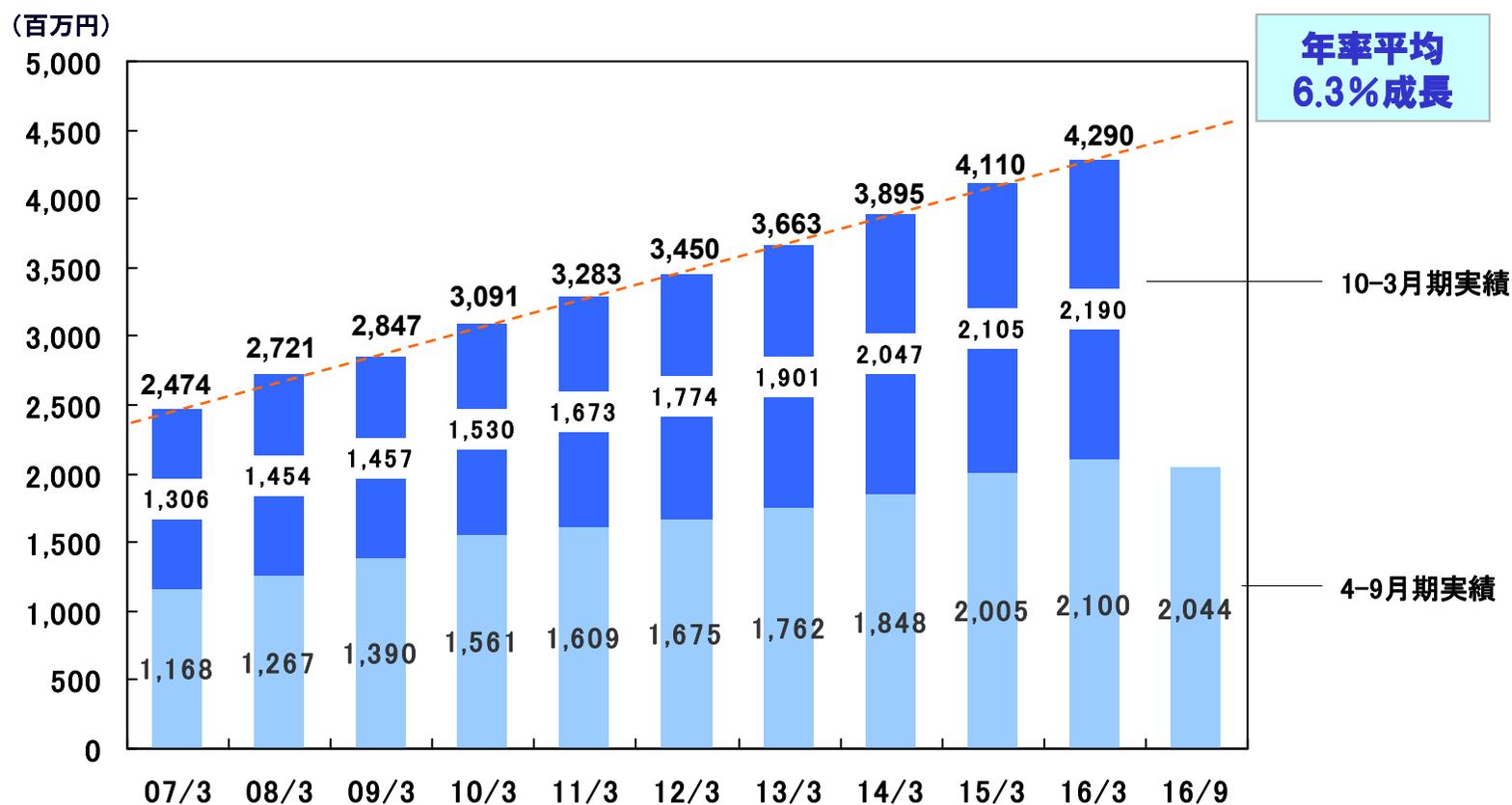
● 品目別売上高(国内・海外別)



● 品目別売上高(四半期別)



● 消耗品等の売上高推移

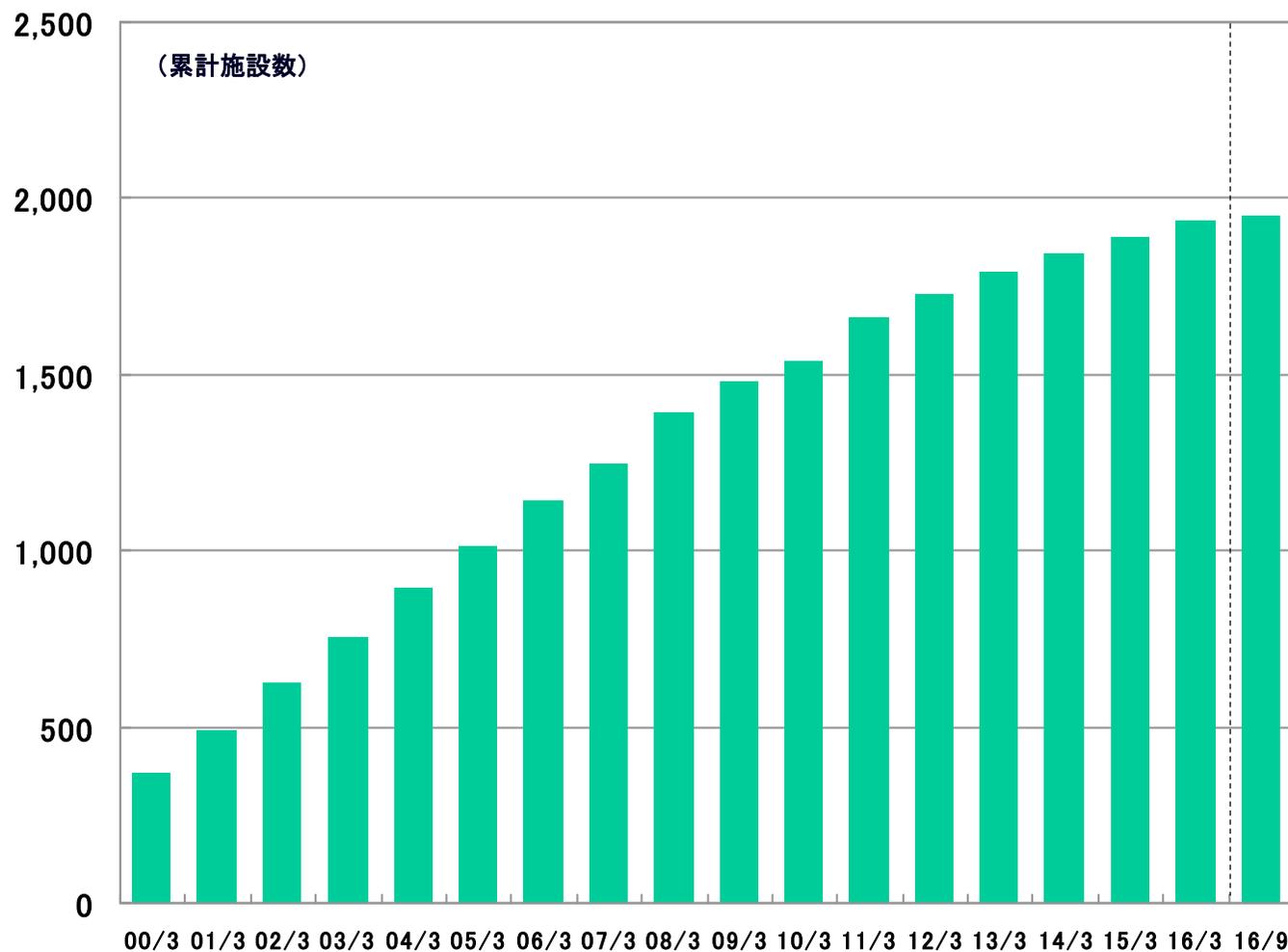


● 採血管準備装置－ROBO納入施設数

	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2016/4-9月
納入施設数	254	262	262	90
国内	207	197	203	73
内、新規	54	46	48	12
内、更新	153	151	155	61
輸出	47	65	59	17

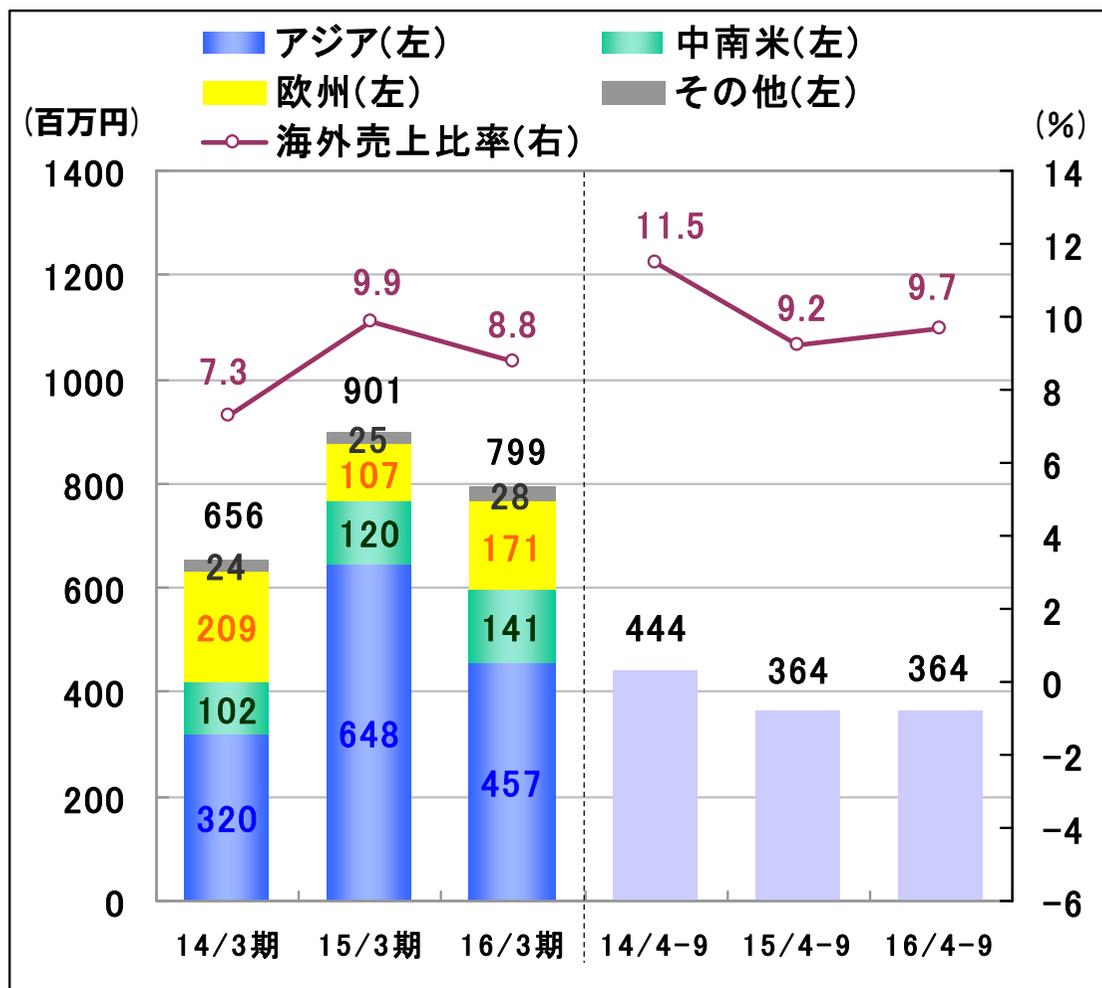
- ・国内：高付加価値化製品の導入に注力も、更新案件数は減少
- ・輸出：欧州、中南米市場での売上が減少

● 採血管準備装置 - 納入施設の推移



当社納入数
1,951施設

● 海外売上高



[2016/4-9月期]
採血管準備装置
 …欧州、中南米で減少
検体検査装置…全般的に苦戦
消耗品…検査装置用の消耗品
 でスポット受注発生

● 要約損益計算書

(単位:百万円、%)

	2015年4-9月期		2016年4-9月期			2016年3月期	
	金額	百分比	金額	百分比	前期比	金額	百分比
売上高	3,948	100.0	3,765	100.0	△ 4.6	9,032	100.0
売上原価	2,040	51.7	2,013	53.5	△ 1.3	5,022	55.6
売上総利益	1,907	48.3	1,752	46.5	△ 8.1	4,009	44.4
販売管理費	1,113	28.2	1,416	37.6	+ 27.2	2,368	26.2
営業利益	794	20.1	335	8.9	△ 57.8	1,640	18.2
営業外損益	1	0.0	△ 0	△ 0.0	-	4	0.1
経常利益	795	20.1	335	8.9	△ 57.9	1,645	18.2
特別損益	-	-	△ 658	-	-	157	1.7
法人税、調整額等	288	7.3	△ 89	△ 2.4	△ 130.9	606	6.7
四半期(当期)純利益	506	12.8	△ 233	△ 6.2	△ 146.0	1,197	13.3

● 要約貸借対照表【資産の部】

	2016年3月末		2016年9月末		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)
流動資産	13,341	90.1	12,053	89.2	△ 1,288
現預金	7,959		7,685		△ 274
売上債権	3,223		2,126		△ 1,097
棚卸資産	2,006		1,815		△ 191
その他流動資産	153		427		+ 274
固定資産	1,459	9.9	1,456	10.8	△ 3
有形固定	1,291		1,293		+ 2
無形固定	22		19		△ 3
投資等	145		143		△ 2
資産合計	14,801	100.0	13,510	100.0	△ 1,291

● 要約貸借対照表【負債・純資産の部】

	2016年3月末		2016年9月末		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)
流動負債	2,498	16.9	1,830	13.5	△ 668
買入債務	1,573		950		△ 623
短期有利子負債	-		-		-
その他流動負債	924		880		△ 44
固定負債	221	1.5	202	1.5	△ 19
長期借入金	-		-		-
その他固定負債	221		202		△ 19
負債合計	2,719	18.4	2,033	15.0	△ 686
純資産合計	12,081	81.6	11,477	85.0	△ 604
負債・純資産合計	14,801	100.0	13,510	100.0	△ 1,291

● 要約キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	2015/4-9月	2016/4-9月	
	金額	金額	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	833	129	△ 704
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 62	△ 92	△ 30
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 376	△ 370	+ 6
現金・現金同等物の増加額	394	△ 333	△ 727
現金・現金同等物の期首残高	5,692	5,991	+ 299
現金・現金同等物の四半期末残高	6,087	5,658	△ 429
研究開発費	197	384	+ 187
設備投資実施額	2	30	+ 28
減価償却実施額	37	33	△ 4



当社の経営戦略

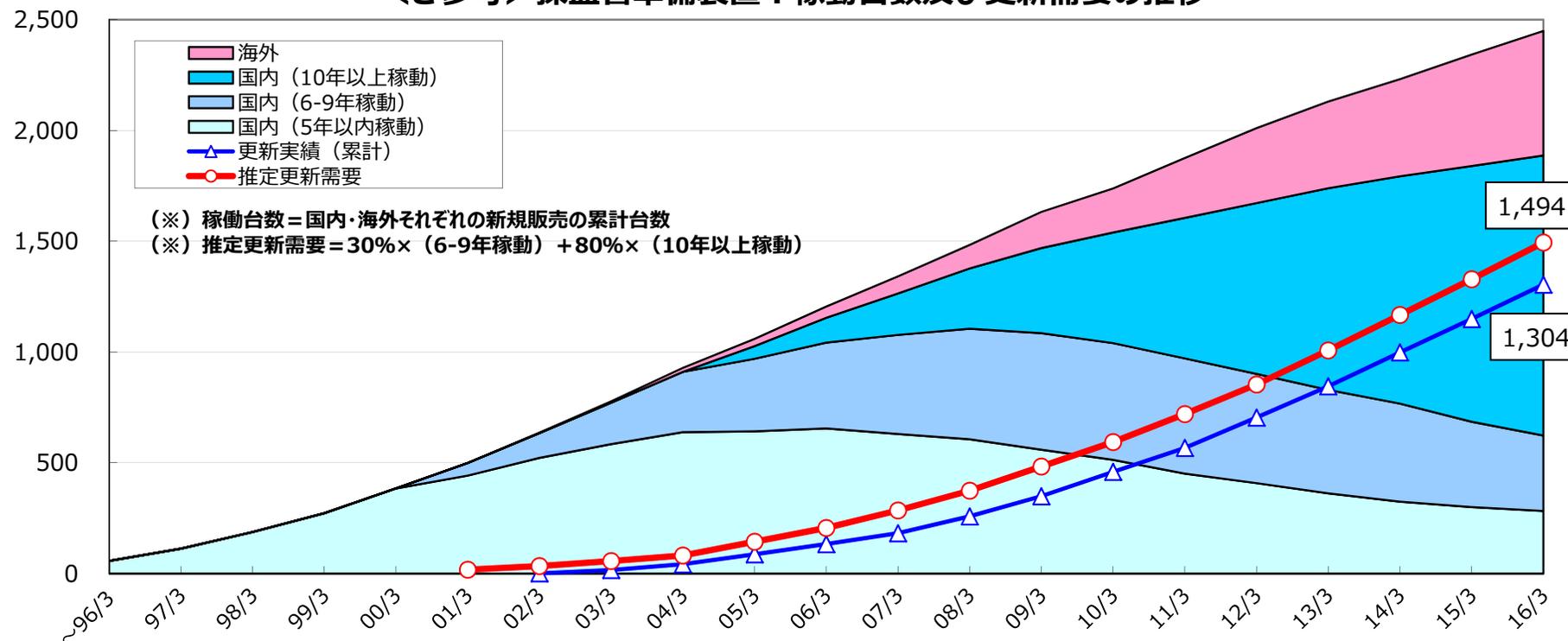
● 今後の課題①

➤ 採血管準備装置

- ◆ 引続き大病院向けを中心に更新需要の着実な捕捉
- ◆ 高機能新製品・ニューコンセプト新製品の上市

(施設数)

<ご参考> 採血管準備装置：稼働台数及び更新需要の推移



● 今後の課題②

▶ 新市場を作る製品の販売強化

RFID

- ◆ BC・ROBO-8000 RFID
- ◆ UA・ROBO-2000 RFID
- ◆ u-TRIPS (RFID尿検体管理システム)
- ◆ TRIPS-Bt (RFID輸血患者情報管理・照合システム)



全自動尿分析・分取装置
「UA・ROBO 2000」



新規販路開拓、販売機会の拡大

- ◆ BC・ROBO-6 … 健診施設、クリニック等
- ◆ 静脈可視化装置「StatVein」… 小児科・麻酔科等
- ◆ 酸化ストレスマーカー … 大学の研究室等
- ◆ ヘルスケア製品
アミノサイン®… 必須アミノ酸リジン測定



非接触型静脈可視化装置
「StatVein」



● 今後の課題②ー続き

➤ 検体検査装置

- ◆ 血液ガス分析装置の販売強化
- ◆ 電解質測定装置(STAX-5 Inspire、STAX-6)の販売強化
- ◆ 電解質Na、K専用測定装置の量産製造継続(製造受託)
- ◆ 新製品の上市「G-700」

血液ガス分析装置
「G-700」



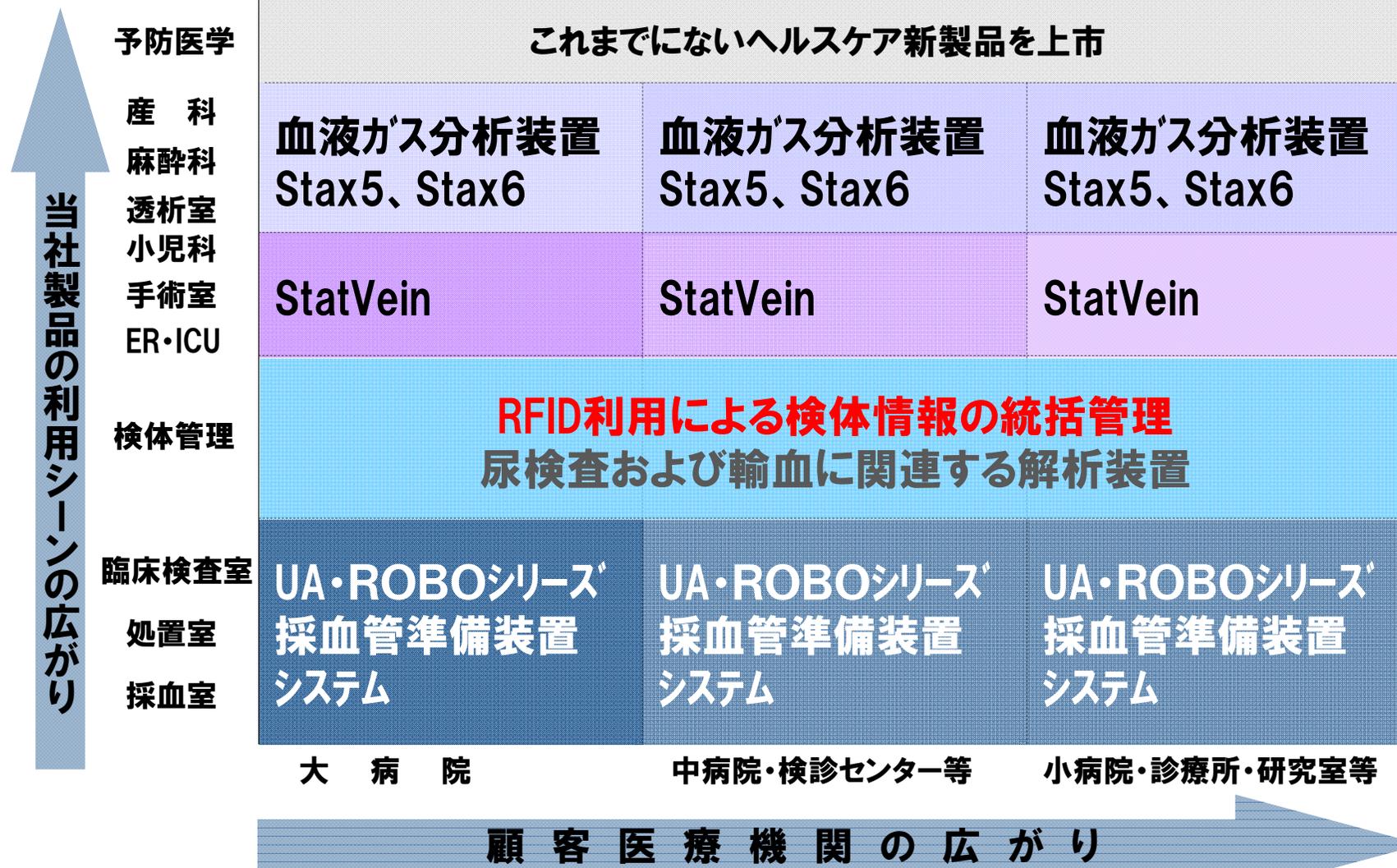
STAX-5 Inspire



➤ 輸出

- ◆ 新市場の開拓、既存市場での販売体制の強化
 - 新興国＋先進国で新市場の開拓
 - 資金回収の確実性確保を継続

オンリーワン製品を武器として新市場・新規顧客を開拓



中期的な課題と施策

- ① 継続的な市場創出型新製品の上市←R&Dの選択と集中
- ② 医療現場におけるRFID活用領域の拡大
- ③ ヘルスケア事業の飛躍的拡大
- ④ 国内における採血管準備装置の更新需要の確実な捕捉
- ⑤ 輸出売上の拡大

<注意事項>

当資料に記載された内容は、現時点において一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的に判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。投資に際しての最終的なご判断は、ご自身がなされるよう、お願い致します。